

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和07年01月31日

計画の名称	新城市公共交通主要拠点に係る待合環境整備及び乗継利便性増進事業													
計画の期間	令和07年度～令和08年度(2年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	新城市													
計画の目標	新城市では、「新城市地域公共交通計画」に基づく市民の暮らしを支え、持続可能な地域づくりに欠かすことのできないインフラとして、さらには「おでかけ」の楽しみをつくることで生活の質を高め、豊かさを増進させるための地域公共交通施策を進めている。 本市地域公共交通の主要拠点である本市中心市街地と観光名所への玄関口ともいえるJR飯田線本長篠駅、東京・大阪・名古屋へとつながる高速バス路線のバス停がある道の駅もつくる新城において、公共交通の運行乗継情報や快適な待合環境を提供することにより、主要拠点間の交通モードや市域全体に伸びる支線との接続利便性向上、おでかけ利用促進をめざす。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	52	A	52	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%	

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和3年度		令和8年度
1	豊鉄バス田口新城線利用者数 令和8年度実績49,512人			
	本市主要路線である豊鉄バス田口新城線の利用者数を新型コロナウイルス感染拡大前水準での維持をめざす バス年度ごとの豊鉄バス田口新城線利用者数	39618人	人	49512人
2	Sバス利用者数 令和8年度実績87,158人			
	Sバス路線ごとに利用者数の推移を確認しつつ、Sバス全体の利用者数の現状維持をめざす バス年度ごとのSバス利用者数(小中学生の通学利用を除く)	87158人	人	87158人
3	バス運行にかかる市民一人あたりの市負担額 令和8年度実績3,786円			
	年々増加傾向にある本市のバス運行に係る市民一人あたりの負担額を利用者の増加に伴う収入増等により現状維持をめざす 年度ごとのバス運行に係る市負担額-運賃等収入額/住民基本台帳人口	3786円	円	3786円

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域公共交通再構築 事業	A17-001	地域交通	一般	新城市	間接	豊橋鉄道株 式会社	-	-	本長篠バスターミナル公 衆トイレ整備	公衆トイレ整備	新城市	■					4	1.77	-	
	A17-002	地域交通	一般	新城市	間接	東海旅客鉄 道株式会社	-	-	本長篠駅公共交通案内所 等施設整備	交通案内所等整備	新城市	■	■				20	6.83	-	
	A17-003	地域交通	一般	新城市	直接	新城市	-	-	道の駅もつくる新城バス 待合所整備	バス施設整備	新城市		■				20	1.63	-	
	A17-004	地域交通	一般	新城市	直接	新城市	-	-	公共交通乗継利便増進事 業	運行時刻表等情報案内デジタ ルサイネージ設置 3か所	新城市		■				8	1.63	-	
												小計						52		
											合計						52			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					